施策名	汚水の適正処理

主担当課	下水道課	関連課	生活環境課

総合計画体系			
	部	4	快適生活環境の充実
	章	3	上下水道事業の確立

施策の将来像	生活排水を適正に処理し、水環境が保全されています

【23年度の施策の目標と達成状況】

目標

・合併浄化槽の維持管理費に対して補助金を適正に支給する。
・特定環境保全公共下水道事業の地方公営企業法適用化のための事前準備に取り組む。
・玄海地域の下水道整備を計画的に実施する。年度末現在の整備率目標を91%とし、普及率の向上に努める。
・宗像終末処理場の改築・更新を推進する。・健全な財政運営の推進のため、歳入の確保、経費の削減及び投資的費用の縮減に努める。

目標の達成状況

・浄化槽管理者に対して、合併処理浄化槽の維持管理費補助金を適正に交付し、生活排水の適正処理の推進を図った。
・特定環境保全公共下水道事業の地方公営企業法適用化のための事前準備は、予定どおり過年度取得分の資産整理を終了した。
・玄海地域の下水道整備は、上八地区を中心に面整備を進め、平成23年度末で整備面積235ha、整備率88.3%となった。
・宗像終末処理場の施設整備は、10年間の改築・更新計画の後期の2年目が終了、事業費ベースの進捗率は64.9%となった。また、全量高度処理化への改築は平成23年度で完了した。健全な財政運営の推進のため、行政経営改革プランや公営企業経営健全化計画に計上した改善項目等を検証し、財政収支計画や予算編成等に反映させた。

【成果指標】

指標名	単位		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
汚水衛生処理率	%	目標	97.7	98.2	98.6	98.8	98.9
		実績	97.7	98.2	—	—	—
—	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
—	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—

【投入コスト】 （単位：千円）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
決算額	818,949	768,243	—	—	—

【施策の評価と今後の方針】

施策の評価と今後の方針

成果指標の「汚水衛生処理率」は目標値を達成したが、特定環境保全公共下水道事業の年度末整備率は88.3%に止まり、目標値には達しなかった。これは、社会資本整備総合交付金の減額を起因とした事業着手の遅れにより、事業の一部を翌年度に繰り越したことによるものである。今後も未整備地域の計画的な整備の実施と整備完了地域での水洗化を促進し、普及率と水洗化率の向上に努める。

終末処理場や下水道管路等の老朽化施設の改築更新について、今後基本構想や宗像市公共下水道事業計画を作成し、平成26年度から計画に基づいた更新に着手する予定である。

平成25年4月には、特定環境保全公共下水道事業に地方公営企業法を適用するとともに既存の下水道事業会計に統合する予定であり、今後も下水道事業の健全な財政運営を維持するため、歳入の確保とコスト削減に努め、効率的な事業運営を行う。